

施策評価シート

幹事部局

地域振興部

施策の名称	IV-2-(4) 関係人口の拡大
施策の目的	都市部にいながら何らかの形で島根と関わりたいと希望する人々を掘り起こし、県内での活動の場を提供して、地域活性化への貢献や将来の移住につなげます。
施策の現状 に対する評価	<p>①(関係人口の拡大と地域貢献の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまこアカデミーや東京・大阪での関係人口に関するセミナー等の取組により、都市部の方々の県内への理解が促進され、関係人口の掘り起こしにつながっている。しかしながらセミナー参加者に対して、直接島根に関わる機会を十分に提供できていない。 ・地域の関係人口受け入れ機運の醸成や受け入れ支援を行うため、研修会の開催やアドバイザーの派遣等を実施しているが、地域の機運の醸成が十分に進んでいない。 ・令和3年10月に、しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」を開設し、マッチング実績は上がっているが、さらにマッチングを進めるにあたって、プログラムの種類や数が十分ではない。 <p>②(島根を応援する人を増やすための情報発信と交流の場づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR情報誌「シマネスク」は、紙媒体の配布に加え若い世代や海外向けに電子書籍化やインスタグラムを開設しているが利用が伸びない。 ・「リメンバーしまね」では、登録者参加型の企画を実施したが、登録者同士の交流の広がりや欠け、コンテンツも固定化したものが多く、新たな団員獲得が課題である。 ・島根への感謝や貢献したいという考えを有する方々に、ふるさと島根寄附金制度の活用をしてもらえるよう、ふるさと島根寄附金制度の効果的な周知が課題である。 <p>(前年度の評価後に見直した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー参加者等に対する島根での現地プログラムの提供を検討している。 ・ふるさと島根定住財団と市町村が合同で、地域に対して関係人口研修会を開催している。 ・「リメンバーしまね」サイトの主目的を関係人口の増加に変更し、登録者同士や県内の各種団体等との交流を促進させるためのコンテンツを導入するなどサイトを大幅にリニューアルした。
今後の取組 の方向性	<p>①(関係人口の拡大と地域貢献の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口セミナー受講生等に対して、「しまっち！」への関係人口登録を促すほか、島根の地域で活動できるプログラムを提供する。 ・地域の関係人口受入機運の醸成については、市町村研修会等を開催し、市町村と連携して進める。 ・地域に対しては、参考となる事例を示しながら、地域活動プログラムの造成や魅力化、継続的な関係の維持・深化に向けた支援を行い、「しまっち！」への掲載につなげていく。 <p>②(島根を応援する人を増やすための情報発信と交流の場づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シマネスク」にこだわらず、若い世代に向けたSNS広告などの情報発信方法を検討する。 ・リニューアルした「もっとりメンバーしまね」サイトでの登録者同士や県内の各種団体等との交流がしやすく、また、新たな団員の獲得につながるようにサイトを運営していく。 ・ふるさと島根寄附金における寄附金の活用目的、活用事業等の周知に更に取り組むと共に、寄附者に対しては、継続的なつながりが持てるよう定期的な情報発信に取り組む。

事務事業の一覧

施策の名称	IV-2-(4) 関係人口の拡大				
-------	------------------	--	--	--	--

	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	ふるさと島根寄附金	国民	ふるさと納税のPRを最小の経費で効果的に行い、寄附を通じて島根に関心を持つ人や島根を応援する人の増加に寄与する。	59,031	52,320	政策企画監室
2	島根を創る人づくりプロジェクト	島根県出身者(主に若年層)	島根の次代を担う若者の「育成」と「還流」を一体的・系統的に推し進め、県内定着等の一層の促進を図る。	10,290	10,290	政策企画監室
3	島根県の認知度向上対策事業	県外在住者	島根の魅力や島根らしさの情報発信を行うことで県の認知度を向上させる	30,818	26,723	広聴広報課
4	ふるさと島根定住推進事業(関係人口創出・拡大事業)	地域への関わりを希望する者	島根に関わりたいと希望する人々を掘り起こし、様々な形で島根に貢献できる機会や活動の場を提供する。	41,391	64,643	しまね暮らし推進課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

政策企画監室

事務事業の名称		ふるさと島根寄附金			
目的	誰(何)を対象として	国民	事業費 (千円)	令和3年度の実績額	令和4年度の当初予算額
	どのような状態を目指すのか	ふるさと納税のPRを最小の経費で効果的に行い、寄附を通じて島根に関心を持つ人や島根を応援する人の増加に寄与する。		59,031	52,320
			うち一般財源 (千円)	12,441	13,137
令和4年度の取組内容		・ふるさと島根寄附金条例に基づき収受した寄附金を基金へ積み立て、県の行う事業の推進のために活用するとともに、制度の活性化を図るために、パンフレット等によるPR、県産品の贈呈、クレジットカード等による寄附金収納事務を行う。 ・総務省からは、「ふるさと納税に係る指定制度」が導入され、返礼品の取り扱いがルール化されるとともに、制度の運営にあたり市町村への助言・支援を行うことが求められており、相談対応、情報提供及び意見交換を行う。			
令和3年度に行った評価を踏まえて見直したこと		県産品贈呈業務委託先については、プロポーザルにより再選定を行い透明性を担保した。			
1	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大	3	上位の施策	
2	上位の施策		4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上 分類
1	ふるさと島根寄附金の寄附件数【当該年度4月～3月】	目標値		2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	件	単年度 値
		実績値	1,318.0	2,038.0	1,836.0					
		達成率	—	101.9	91.8	—	—	—		
2		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		・令和3年度実績 寄附件数は前年度より202件の減、寄附金額:46,589千円(昨年度より5,418千円の増) ・ふるさと納税を実施する団体においては、令和元年6月より「ふるさと納税に係る指定制度」が導入され、総務省の指定を受けることが必要となった。指定を受けるにあたっては返礼品について次の基準を満たす必要があるほか、返礼品を強調した広告や返礼品を主とした内容のパンフレットの不特定多数への配布はできない。①寄附金に占める返礼品の割合が3割以下であること、②寄附金に占める返礼品と事務費を含めた割合が5割以下であること、③国の基準を満たす地場産品に限られる。								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	令和3年度は、ふるさと寄附に係るホームページの内容を精査し、寄附を募る事業内容をより分かりやすい表示に見直した。また、返礼品一覧を作成し遺唐使通信に同封するなど島根県関係者へ周知を図った。
課題分析	① 課題	「目的」達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点
	② 原因	上記①(課題)が発生している原因
	③ 方向性	・寄附者に対して制度の趣旨、寄附金活用の理解をより促すため、活用事業の詳細をホームページでわかりやすく伝えるなど更なるPRの方法を検討する。 ・引き続き寄附金を活用した事業の実績報告書を作成し、寄附者に対してメールや郵送等により周知する。また、他部局とも連携し寄附者への継続的な繋がりを構築する。

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

政策企画監室

事務事業の名称		島根を創る人づくりプロジェクト			
目的	誰(何)を対象として	県民(主に若年層)	事業費 (千円)	令和3年度の実績額	令和4年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	島根の次代を担う若者の「育成」と「還流」を一体的・系統的に推し進め、県内定着等の一層の促進を図る。		10,290	10,290
			うち一般財源 (千円)	10,290	10,290
令和4年度の取組内容		・今年度は、下記のテーマについて、特に力を入れて関係部局、関係機関と熟議・検討する。 (1)プロジェクトの進捗管理、評価・検証手法として、主要な取組についてのロードマップ作成 (2)首都圏・関西圏のUターン(ターン)施策の強化 ・昨年度からの継続的な取組として、モデル事業(学生とのつながりづくり事業)を開始した6市町を初めとする県内全市町村と意見交換会を実施			
令和3年度に行った評価を踏まえて見直したこと					
1	上位の施策	IV-1-(1) 学校と地域の協働による人づくり	3	上位の施策	IV-1-(3) 地域を担う人づくり
2	上位の施策	IV-2-(1) しまねの「暮らし」や「魅力」の情報発信	4	上位の施策	IV-2-(2) 若者の県内就職の促進

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	県内大学等の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値		36.1	36.9	37.7	38.5	39.4	%	単年度値
		実績値	29.4	32.7	37.9					
		達成率	—	90.6	102.8	—	—	—		
2	県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値		29.0	30.0	30.0	31.0	31.0	%	単年度値
		実績値	26.6	27.9	30.9					
		達成率	—	96.3	103.0	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		(しまね産学官人材育成コンソーシアムのKPI) ・県内高等教育機関卒業生の県内就職率 令和3年度 37.9% (令和6年度目標値 39.4%)								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・若者の「育成」と「還流」に資する新規・拡充事業について、関係会議で議論・検討し、関係課のR4当初予算へ反映した。 ・具体的には、低学年次からの学生とのつながりづくりを強化するため、LINEによるセグメント配信等が可能となる「しまね登録」の整備や、県外への進学先として最も割合が高い山陽地域の学生就職アドバイザーの増員等を行った。 ・また、出身学生とのつながりづくりに取り組む市町村を支援するモデル事業や、中期的な取組を共有するロードマップの作成作業などとおして、市町村や県内大学とは、本プロジェクトの情報共有が図られた。 ・しまね産学官人材育成コンソーシアムでは、県内大学生等と県内企業等との接点を増やす仕組みをより具体的に検討するため、高等教育機関のワーキンググループと経済団体のワーキンググループを設置した。
課題分析	① 課題	・本プロジェクトの進捗管理、評価・検証ツールとして、ロードマップの作成に取り組んでいるが、完成に至っていない。 ・上記のモデル事業に取り組む市町村など、一部の市町村や県内大学とは、本プロジェクトの情報共有が図られるようになったが、他の市町村や企業・経済団体等との情報共有や連携が十分ではない。 ・若者を含むUターン・ターン者数の減少傾向が続いている。
	② 原因	・全庁的にロードマップによる進捗管理、評価・検証に慣れていないこともあり、関係者間でロードマップを作成する意義や完成イメージの共有ができていない。 ・本プロジェクトの概要や成果について、対外的な周知やPRが十分にできていない。 ・少子化の影響等で県外の島根県出身者も減少しており、また、Uターンについても、全国で自治体間の競争が激しくなっている。
	③ 方向性	・ロードマップについては、引き続き、庁内外の関係者と議論・検討を行い、7～8月を目途に完成させる。 ・市町村との意見交換会や、県の重点広報枠を活用し、本プロジェクトの取組内容や成果等についての周知・PRを図る。 ・関係課における、山陽圏域での学生への支援体制の強化や、Uターン・ターン者減少の要因分析結果等を踏まえ、プロジェクト全体でUターン・ターンの推進に資する取組について議論・検討する。

事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	島根を創る人づくりプロジェクト
---------	-----------------

「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	IV-2-(3) Uターン・Iターンの促進
6	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大
7	上位の施策	
8	上位の施策	

「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上
										分類
3	年間Uターン者数【当該年度4月～3月】	目標値		2,408.0	2,478.0	2,548.0	2,618.0	2,688.0	人	単年度値
		実績値	2,234.0	2,144.0	2,001.0					
		達成率	—	89.1	80.8	—	—	—		
4	年間Iターン者数【当該年度4月～3月】	目標値		1,545.0	1,570.0	1,595.0	1,620.0	1,645.0	人	単年度値
		実績値	1,319.0	1,464.0	1,316.0					
		達成率	—	94.8	83.9	—	—	—		
5	将来、自分の住んでいる地域のために役立ちたいという気持ちがあると回答した生徒の割合【当該年度7月時点】	目標値		70.1	71.4	72.8	74.2	75.6	%	単年度値
		実績値	68.7	69.3	70.9					
		達成率	—	98.9	99.3	—	—	—		
6	高校魅力化コンソーシアムに参画している高校数【当該年度3月時点】	目標値		25.0	30.0	35.0	35.0	35.0	校	累計値
		実績値	10.0	28.0	35.0					
		達成率	—	112.0	116.7	—	—	—		
7	教員籍以外の社会教育主事講習受講者数【当該年度4月～3月】	目標値		40.0	40.0	60.0	60.0	60.0	人	単年度値
		実績値	19.0	73.0	80.0					
		達成率	—	182.5	200.0	—	—	—		
8		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
9		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
10		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

広聴広報課

事務事業の名称		島根県の認知度向上対策事業			
目的	誰(何)を対象として	県外在住者	事業費 (千円)	令和3年度の実績額	令和4年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	島根の魅力や島根らしさの情報発信を行うことで県の認知度を向上させる		30,818	26,723
令和4年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 島根PR情報誌配布事業: 島根をPRする県外向けの総合誌「シマネスク」の制作、配布による情報発信 県外への情報提供(遣島使): 県情報の提供等により遣島使のPR活動を支援 県外への情報提供(県人会): 県情報の提供、県外在住功労者への表彰などにより県人会の活動を支援 島根の応援団ネットワーク事業: 島根県応援サイト「もっとリメンバーしまね」の運営により関係人口の増加に繋がる情報発信を実施 				
令和3年度に行った評価を踏まえて見直したこと	「リメンバーしまね」の目的に関係人口の増加に加え、会員同士の交流を促進させるコンテンツの見直しや、SNSアカウントでの会員登録を可能とするなど、サイトをリニューアルした。				
1	上位の施策	IV-2-(1) しまねの「暮らし」や「魅力」の情報発信	3	上位の施策	
2	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	島根県応援サイト「リメンバーしまね」総団員数【当該年度3月時点】	目標値		23,500.0	23,900.0	24,300.0	24,700.0	25,100.0	人	累計値
		実績値	23,070.0	23,245.0	23,293.0					
		達成率	—	99.0	97.5	—	—	—		
2	島根県応援サイト「リメンバーしまね」新規団員数【当該年度3月時点】	目標値		400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	人	単年度値
		実績値	289.0	175.0	48.0					
		達成率	—	43.8	12.0	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン用アプリ「マチイロ」における「シマネスク」閲覧登録者数(H31.4月～) R3.6月 1,173人 → R4.6月: 1,631人 公式Instagramにおける「シマネスク(掲載写真)」フォロワー数(R2.12月～) R3.6月 590人 → R4.6月: 1,244人 リメンバーしまねの登録団員に占める県外在住者の割合(R4.3末) 87.1% 								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> 島根の応援団ネットワーク事業によるサイト閲覧数や投稿数などの状況は次のとおり。 公式Instagramフォロワー数(R4.3末) 1,463人(R3.3末1,108人から増加) サイト閲覧数(年) R3年度: 543,329pv(R2年度: 515,066pvから増加) サイト訪問者数(年) R3年度: 127,178人(R2年度: 110,887人から増加) 投稿数(年) R3年度: 2,360件(R2年度: 2,134件から増加) コメント数(年) R3年度: 18,170件(R2年度: 18,395件から減少)
課題分析	① 課題	<ul style="list-style-type: none"> 「リメンバーしまね」の新規会員登録の減少傾向が続いている。 「リメンバーしまね」サイトの各コーナーでの交流(投稿・コメント)が広がりにくい状況が継続。 「シマネスク」のアンケートでは10～30代からの回答が10%前後であり、若者世代への魅力・認知度の訴求効果が低い。
	② 原因	<ul style="list-style-type: none"> 「リメンバーしまね」の会員以外の方にサイトの存在が十分周知できていない。 投稿する会員が固定化し、新規団員やライトユーザーが投稿やコメントをしづらい雰囲気がある。 若者の情報入手手段がSNSやネットであり、紙媒体である「シマネスク」の情報発信がなじまない。
	③ 方向性	<ul style="list-style-type: none"> 県SNS等を活用し、リニューアル後の「もっとリメンバーしまね」サイトの周知を図っていく。 初めて来訪される方が参加して見たいような情報を発信していく。 新規会員やライトユーザーなど多くの人が参加しやすいコンテンツの展開を進める。 「シマネスク」については電子書籍化やInstagramでの発信を行っており、その結果分析なども踏まえ、廃止を含めた検討を行う。

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

しまね暮らし推進課

事務事業の名称		ふるさと島根定住推進事業(関係人口創出・拡大事業)			
目的	誰(何)を対象として	地域への関わりを希望する者	事業費 (千円)	令和3年度の実績額	令和4年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	島根に関わりたいと希望する人々を掘り起こし、様々な形で島根に貢献できる機会や活動の場を提供する。		41,391	64,643
			うち一般財源 (千円)	38,542	54,643
令和4年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口と地域をマッチングする関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」の運営 ・移住支援サテライト東京及び大阪ふるさと定住・雇用情報コーナーによるセミナー等の開催を通じた関係人口の掘り起こし ・都市部の大学と連携した島根の地域を学ぶ講座の開催 ・地域を対象とした研修の開催やアドバイザー派遣による、関係人口受入機運の醸成 ・県出身学生と島根とのつながりを創出・維持するための情報発信やイベント等の開催 				
令和3年度に行った評価を踏まえて見直したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口セミナー受講者等の島根への関心を深めるため、現地体験プログラムを提供 ・地域の気運醸成のための研修を市町村と合同で開催 ・将来のUターンにつなげるための、県外へ進学した学生とのつながりづくりを実施 				
1	上位の施策	Ⅳ-2-(4) 関係人口の拡大	3	上位の施策	
2	上位の施策	Ⅲ-3-(1) 稼げるまちづくり	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	しまこアカデミー受講者数【当該年度4月～3月】	目標値		214.0	259.0	304.0	349.0	394.0	人	累計値
		実績値	176.0	218.0	258.0					
		達成率	—	101.9	99.7	—	—			
2	移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー累計受講者数【当該年度4月～3月】	目標値		231.0	940.0	1,290.0	1,640.0	1,990.0	人	累計値
		実績値	190.0	697.0	1,162.0					
		達成率	—	301.8	123.7	—	—			
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		<ul style="list-style-type: none"> ・「しまっち」掲載プログラム 28件 ・関係人口登録 129名 ・しまね田舎ツーリズム実践者数は、R2年度131件、R3年度148件と推移 								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・しまねに関わりたいと希望する人の掘り起こしを行う、東京拠点等での関係人口拡大セミナーやしまこ受講者は増加の状況。 ・「しまっち！」によるマッチングは順調に進んでいる。
課題分析	① 課題	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の関係人口を受け入れる機運の醸成やプログラムの作成が十分進んでいない。 ②掘り起こした関係人口に対して、島根と関わる機会が十分に提供できていない。
	② 原因	<ul style="list-style-type: none"> ①地域に対して、関係人口を受け入れることのメリットが示せていない。 ②「しまっち！」へ掲載しているプログラムの数や種類が不十分。また、セミナー等で掘り起こした関係人口のニーズに沿ったプログラムを用意できていない。
	③ 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ①マッチング後に関係人口が継続して地域に関わることで、持続的な地域活性化につながっている参考事例を紹介する必要がある。関係人口と地域の関係性の維持・深化に向けた支援を検討・実施し、こうした事例をつづっていく。 ②①の取組により機運が醸成された地域等に対し、関わりしろの見える化やプログラムの魅力化に向けた支援を行い、「しまっち！」への掲載を進める。 また、関係人口セミナー等受講者向けに、島根の地域で活動できるプログラムを用意する。

事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	ふるさと島根定住推進事業(関係人口創出・拡大事業)
---------	---------------------------

「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	
6	上位の施策	
7	上位の施策	
8	上位の施策	

「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上
										分類
3	関係人口マッチングサイトによる県内地域へのマッチング件数【当該年度4月～3月】	目標値	(新規事業)		10.0	30.0	50.0	70.0	件	累計値
		実績値			16.0					
		達成率	—	—	160.0	—	—	—		
4		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
5		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
6		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
7		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
8		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
9		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
10		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		